

事務連絡
令和8年 8月3日

都道府県下水道担当課長
政令指定都市下水道担当部長
（上記、各地方整備局等経由）
市町村下水道担当部長・課長
（上記、各都道府県経由）
日本下水道事業団事業調整課長
都市再生機構下水道担当課長

殿

国土交通省水管理・国土保全局
上下水道企画課
管理企画指導室企画専門官
下水道事業課
事業マネジメント推進室課長補佐

下水道セーフティネット NO. 296 について
（令和8年6月分）

1. 維持管理作業事故

令和8年6月は4件（死亡：0件、負傷：4件）の事故報告があり、昨年の同時期と比べると4件増加しました。

維持管理事故の例として、マンホールから退去中（下段の中床版から昇り、上段の中床版でフックを付け替える際）に下段の中床版が抜け落ち、作業員が墜落する事故が発生しました。

2. 工事故

令和8年6月は7件（負傷：6件、物損：1件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べると1件増加しました。

工事故の例として、アルミ矢板圧入作業中、矢板の反動で打込金物が飛散し、重機オペレーターの頭部に直撃して一時意識を失い、バックホウが掘削部へ転落した事故が発生しました。

3. 水質事故等

令和8年6月は5件（水質事故：5件、その他案件：0件）の事故報告があり、昨年の同時期と比べると4件増加しました。

水質事故の例として、塩害腐食による管渠の破損により、道路路肩から汚水が流出する事故が発生しました。

4. 発生事故を踏まえた今後の対応について

令和8年5月20日付で発出した「下水道管路等内作業における安全確保の徹底について」（令和8年5月20日付事務連絡）も踏まえ、下水道管路内作業においては、作業者の安全性を最優先し、換気や転落防止などの安全対策を十分に実施することを改めて徹底し事故の未然防止に努め、施設の運転管理や保全管理を適切に

実施していただきますようお願いいたします。

※ 下水道の維持管理に関する事故、工事現場で事故が発生した場合には、原則各地方整備局等の担当まで報告をお願いします。また、重大な事故の場合は、本省及び各地方整備局の担当まで同時に報告をお願いします。

※ 下記のＨＰにて掲載している、下水道セーフティネット、事故データベース、通知等を活用していただき、事故の未然防止に努めていただきますようお願いいたします。

HP : https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html

※ 厚生労働省の下記のＨＰに労働災害事例が掲載されていますので、事故の未然防止に活用いただきますようお願いいたします。

HP : https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SAI_FND.aspx

(担当・問い合わせ先)

国土交通省 水管理・国土保全局

上下水道企画課管理企画指導室（維持管理事故（水質事故等含む）担当）

平野 : hirano-h2ia@mlit.go.jp

大内 : oouchi-m8310@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8428（直通） FAX: 03-5253-1596

下水道事業課事業マネジメント推進室（工事事故担当）

田中 : tanaka-y2an@mlit.go.jp

椿野 : tsubakino-s2m8@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8431（直通） FAX: 03-5253-1597

令和 8 年度
下水道に関する事故発生状況について
(令和 8 年 6 月末時点)

1. 人身事故（総括）
2. 維持管理作業事故
3. 工事事故
4. 水質事故等

国土交通省 水管理・国土保全局
上下水道企画課
下水道事業課

1.人身事故(総括)

(令和8年6月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度 合計
維持 管理 作業	1. 死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (0)										1 (1)
	2. 負傷事故	3 (1)	0 (1)	4 (0)										7 (32)
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)										8 (33)
	累計	3 (1)	4 (2)	8 (2)										—
工 事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)										0 (8)
	2. 負傷事故	2 (0)	8 (3)	6 (6)										16 (61)
	合計	2 (0)	8 (3)	6 (7)										16 (69)
	累計	2 (0)	10 (3)	16 (10)										—
合 計	1. 死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (1)										1 (9)
	2. 負傷事故	5 (1)	8 (4)	10 (6)										23 (93)
	合計	5 (1)	9 (4)	10 (7)										24 (102)
	累計	5 (1)	14 (5)	24 (12)										—

※下段()書きは前年度(令和7年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.維持管理作業事故 (令和8年6月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (0)	0 (0)	1 (0)										1 (0)
	2. 政令市	3 (0)	0 (0)	2 (0)										5 (0)
	3. 一般市	0 (1)	1 (1)	0 (0)										1 (2)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	1 (0)										1 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)										8 (2)
発生施設	1. 管渠	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	2. マンホール	0 (0)	1 (0)	1 (0)										2 (0)
	3. 処理場	2 (1)	0 (1)	3 (0)										5 (2)
	4. ポンプ場	1 (0)	0 (0)	0 (0)										1 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)										8 (2)
事故類型	死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (0)										1 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	14. その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)										1 (0)
	負傷事故	3 (1)	0 (1)	4 (0)										7 (2)
	1. 墜落・転落	1 (0)	0 (1)	2 (0)										3 1
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	4. 切れ・こすれ	1 (0)	0 (0)	1 (0)										2 0
	5. 転倒	1 (0)	0 (0)	1 (0)										2 0
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	14. その他	0 (1)	0 (0)	0 (0)										0 1
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)										8 (2)
被災者数	1. 自治体職員	0 (0)	0 (0)	1 (0)										1 0
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	②負傷	0 (0)	0 (0)	1 (0)										1 0
	2. 委託先業者	3 (2)	2 (1)	3 (0)										8 3
	①死亡	0 (0)	2 (0)	0 (0)										2 0
	②負傷	3 (2)	0 (1)	3 (0)										6 3
	3. 第三者	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	②負傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	合計	3 (2)	2 (1)	4 (0)										9 (3)
	累計	3 (2)	5 (3)	9 (3)										- -

※()書きは、前年度(令和7年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

維持管理作業事故情報データベース

令和8年6月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者			
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況
6月										
1	R8.6.1	政令市	マンホール	①墜落・転落	マンホールから退去中にFRP製の中床版が抜け落ち約5.0m墜落した。罹災者は墜落制止用器具を使用していたが、下段の中床版から昇り、上段の中床版でフックを付け替える際に中床版が抜け落ちた。 抜け落ちた原因は補強材受（ポリアミド製）の劣化によるものである。	同種のFRP製中床版を有するマンホールへの入孔時には、打診による健全性の確認及び墜落防止用器具は使用ではフックの2丁掛けを求める。	委託先業者	50代	男	腰椎圧迫骨折、踵・手の指の骨折
2	R8.6.10	政令市	処理場	⑤転倒	1・2系水処理棟屋上部（公園側）から3系水処理棟屋上部に移動する際、フェンスを乗り越えた。フェンスを乗り越えて着地の際に、着地を失敗して建物の角に左脛をぶつけて受傷した。	安全教育訓練を再発防止策として来週中に実施予定。	自治体担当者	20	男	左脛創傷
3	R8.6.16	都道府県	処理場	①墜落・転落	LED外灯の交換作業において外灯を動かした際、外灯の中にある遮断器が外れるのを防ごうとした作業員がバランスを崩し、落下した。	脚立を使用する場合は、脚立を支える要員を配置し安全に作業を行うこととする。	委託先業者	47	男	右足かかとの骨にひび
4	R8.6.29	村	処理場	④切れ・こすれ	浄化センター構内の植栽を剪定中、両手で電動バリカンを保持し作業していたが、上肢拳上の体勢であったため体勢を崩し、整えようとした際、左手が電動バリカンから離れてしまい、誤って電動バリカンの刈刃部が、左手薬指の先端（爪部）に接触し、負傷した。	不安定な体勢での作業を行わない。高所で作業する場合安定した足場の上で作業を行う。器具が完全に停止するまでは、両手でしっかりと器具を保持する。	委託先業者	30	男	左手薬指裂創骨折

:死亡事故 :負傷事故

3.工事事故
(令和8年6月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	2 (2)	3 (1)	5 (1)										10 (4)
	2. 政令市	1 (0)	1 (3)	0 (2)										2 (5)
	3. 一般市	1 (0)	4 (1)	2 (2)										7 (3)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (1)										0 (1)
	5. その他	0 (0)	1 (1)	0 (0)										1 (1)
	合計	4 (2)	9 (6)	7 (6)										20 (14)
工事分類	1. 管きょ開削	2 (2)	2 (4)	3 (2)										7 (8)
	2. 管きょ推進	0 (0)	1 (0)	0 (1)										1 (1)
	3. 管きょシールド	0 (0)	1 (0)	0 (0)										1 (0)
	4. 管きょその他	0 (0)	3 (1)	1 (1)										4 (2)
	5. 処ボ土木建築	1 (0)	1 (1)	0 (2)										2 (3)
	6. 処ボ機械電気	1 (0)	1 (0)	1 (0)										3 (0)
	7. 処ボその他	0 (0)	0 (0)	2 (0)										2 (0)
	合計	4 (2)	9 (6)	7 (6)										20 (14)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)										0 (8)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (1)										0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	負傷事故	2 (0)	8 (3)	6 (4)										16 (7)
	1. 墜落・転落	1 (0)	0 (1)	1 (0)										2 (1)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	1 (1)	3 (0)										4 (1)
	3. 飛来・落下	0 (0)	2 (0)	1 (1)										3 (1)
	4. 切れ・こすれ	1 (0)	0 (0)	0 (0)										1 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (1)										0 (1)
	6. 激突	0 (0)	1 (1)	0 (0)										1 (1)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)										0 (1)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	4 (0)	1 (0)										5 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (1)										0 (1)
	物損事故	2 (2)	1 (3)	1 (1)										4 (6)
	12-2. 公衆災害(物損)	2 (2)	1 (3)	1 (1)										4 (6)
	合計	4 (4)	9 (6)	7 (6)										20 (16)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数	1. 死亡	0 (0)	0 (0)	0 (1)										0 (1)
	2. 負傷	2 (0)	8 (3)	6 (6)										16 (9)
	合計	2 (0)	8 (3)	6 (7)										16 (10)
	累計	2 (0)	10 (3)	16 (10)										- -

※()書きは、前年度(令和7年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

工事事故情報データベース

令和8年6月末時点

NO.	発生年月日	工事情報			事故情報			被害者状況		
		事業主体	工事分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	年齢	性別	被害状況
6月										
1	R8.6.2	1.都道府県	4.管きょその他	開削工	開削工法にて汚水ます及び取付管の取替工事を実施中にバックホウにて供給管φ30mmを損傷させた。（天候曇り）	現場内	12-2.公衆災害（物損）			
2	R8.6.2	1.都道府県	7.処ボその他	解体作業	台風養生の為にテントフレームの一部を2名で解体中、下段に居た作業員（被災者）が上段の作業員へ中棧から手を離して良いとの指示をし、上段の作業員が中棧から手を離れたところ、中棧が自重により回転し下段作業員（被災者）の指が中棧と建地に挟まれた。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	27	男	指を挟まれ負傷
3	R8.6.4	1.都道府県	1.管きょ開削	開削工	水路整備にあたり、仮設置していた覆工板が沈下したことで生じた段差により、自動二輪車1台と自動車2台が破損し、自動二輪車運転手1名が負傷した。	現場内	12-1.公衆災害（人身）			眼窩骨折及び脛の上の切傷
4	R8.6.11	1.都道府県	7.処ボその他	設備工事	開口蓋受枠の研り作業時、研りガラを集積中に墜落制止用器具を掛け替えた際、開口蓋受枠の仮設受けアングルが外れ、蓋と共に汚泥ピット（深さ11.5m）へ落下して負傷した。	現場内	1.墜落・転落	25	男	左腕の骨折
5	R8.6.12	1.都道府県	6.処ボ機械電気	設備工事	照明器具取付の為に金具を取付の為に脚立で作業後、降りる際に脚立の足が動き側溝に落ちてバランスを崩し9尺脚立4段目から転倒、その際、左手について負傷したものの。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	50	男	左手中指と薬指の関節付け根骨折（全治1か月）
6	R8.6.18	3.一般市	1.管きょ開削	開削工	準備工（公園施設撤去工）にて、下請業者が松杭撤去時にバックホウのバケットに足をかけて、玉掛作業（松杭にロープを掛ける）をしていたが、足が滑り、掘削穴に足から転落した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	48	男	腰椎圧迫骨折（全治1ヶ月）
7	R8.6.30	3.一般市	1.管きょ開削	開削工	アルミ矢板圧入作業中、矢板の反動で打込金物が飛散し、重機オペレーターの頭部に直撃。オペレーターが一時意識を失い、バックホウが掘削部へ転落した。その後救出され、病院へ搬送された。	現場内	3.飛来・落下	54	男	頭蓋骨骨折

:死亡事故

:負傷事故

:物損事故

4.水質事故等
(令和8年6月末時点)

[総括]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)										14 (4)
	累計	5 (2)	9 (3)	5 (4)										- -

[内訳]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (1)	0 (0)	1 (0)										1 1
	2. 政令市	2 (0)	3 (0)	0 (1)										5 2
	3. 一般市	3 (1)	1 (1)	3 (0)										7 3
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 6
	5. その他	0 (0)	0 (0)	1 (0)										1 0
	合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)										14 (12)
発生施設	1. 管渠	1 (0)	0 (0)	4 (1)										5 2
	2. マンホール	0 (1)	2 (0)	1 (0)										3 1
	3. 処理場	4 (1)	1 (1)	0 (0)										5 3
	4. ポンプ場	0 (0)	1 (0)	0 (0)										1 0
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)										14 (6)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	4 (1)	3 (0)	5 (0)										12 1
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (0)	0 (1)	0 (1)										0 4
	3. その他(天災、原因者不明含む)	1 (1)	1 (0)	0 (0)										2 1
	合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)										14 (6)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	1 (1)	0 (1)	0 (0)										1 3
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	2 (0)	0 (0)	0 (0)										2 0
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	0 (0)	1 (1)										1 2
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (1)	3 (0)	4 (0)										9 1
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 0
	水質事故 合計	5 (2)	3 (1)	5 (1)										13 (4)
	その他案件	0 (0)	1 (0)	0 (0)										1 (0)
	水質事故等 合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)										14 (4)
状況分類	① 耐用年数経過	1 (1)	0 (0)	0 (0)										1 (1)
	② 耐用年数以内	1 (0)	2 (0)	4 (0)										7 (0)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	合計	2 (1)	2 (0)	4 (0)										8 (1)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計
※()書きは、前年度(令和7年度)の値
※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和8年6月末時点

NO.	発生年月日	事故情報				事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型		事故概要	事故への対応
6月							
1	R8.6.3	1.都道府県	マンホール	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	下流での企業からの排水と降雨の影響により、MH内の水位が上昇し溢水が発生。	管渠が満管状態であり詳細調査が困難であるため、流下障害が懸念される箇所の管内清掃を実施する。 管渠清掃を実施したところ、管内水位の低下・汚水の流下が確認された。
2	R8.6.3	5.その他	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	硫化水素による圧送管の劣化（推定）のため、道路上から汚水が溢水していた。	緊急対応が可能な業者を手配し、管きょ状況の確認と応急対応を依頼し、流下能力を確保。 事故対応時の確認事項及び関係機関への連絡体制について、チェックリスト等を作成することにより早期報告を図る。
3	R8.6.10	3.一般市	管渠	水質事故	④雨水管からの悪質下水の流出	市の水質調査委託の請負業者より通報。吐口ゲートより公共用水域へ油流出あり。	管渠内の水量も少なく、発生源は特定できなかったため、緊急措置として油を確認したマンホールにオイルマットを数日設置。
4	R8.6.12	3.一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	特殊マンホール側壁付近の破損にて溢水（繰り返しの輪荷重等による振動が原因で破断したと思われる。）	圧力管きょの修繕、改築を行うための資機材やその調達先の確保。圧送管きょの二条化の検討。
5	R8.6.16	3.一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	塩害腐食による管渠の破損により、道路路肩より汚水が流出。	令和８年度に当該圧送管の二条化に向けた改築更新工事を完了予定。当該箇所においては、令和９年度以降改築等の予定。